（別紙様式：学生用）

年　　　月　　　日

海外渡航に係る申請書

国立大学法人長岡技術科学大学長　殿

渡航者

所属課程・専攻、学年、氏名

（指導教員）所属　　　　　　　　　　　　　　系

職名・氏名

下記の海外渡航に係る申請書を提出いたしますので、許可くださるようお願いします。申請書の提出にあたっては、指導教員と確認し、了解を得ていることを申し添えます。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 渡航の用務 | * 国際学会での発表   （学会名等：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）   * 大学として行うプロジェクト、事業活動   （プロジェクト名、事業名：　　　　　　　　　　　　　　　　）   * その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
| 渡航期間 | 年　　月　　日　～　　年　　月　　日 |
| 渡航先国名・都市名 |  |
| 用務及び用務先 | ◆用務：  ◆用務先： |
| 渡航理由  （メールやオンラインミーティングで代替ができず、申請した時期に現地に行かねばならない用務であること。） | （渡航しなければならない理由を具体的に記載） |

１．国・地域に関する条件

| 番号 | 項目 | 条件 | 回答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1-1 | 日本からの入国制限 | していないこと。 | □していない |
| 1-2 | 外務省・危険情報レベル | 原則１以下 | レベル１　□  上記以外　□（レベル　　） |
| 1-3 | 外務省・感染症危険情報レベル | 原則１以下 | レベル１　□  上記以外　□（レベル　　） |
| 1-4 | 現地の状況 | 渡航目的を達するうえで、現地での生活に支障がないこと。 |  |
| 1-5 | 渡航国への入国時/日本への帰国時の検疫 | 渡航先の国・地域への入国に際し、待機期間が現地での用務に支障がないこと。また、日本帰国時の入国に際し、待機期間が帰国後の業務に支障がないこと。 |  |

２．用務先に関する条件　※用務先ごとに併記

| 番号 | 項目 | 条件 | 回答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 2-1 | 医療機関の受診体制 | 現地の住民と同等の適切な医療サービスが受けられること。 |  |
| 日本語ないし英語で受診できる医療機関があること。 |  |
| 上記に該当する最寄りの病院名を具体的に挙げること。 |  |
| 2-2 | 用務先受け入れ体制 | 日本からの受け入れを行っており、用務遂行に支障がないこと。  自主隔離が必要な際の隔離場所を確保できること。 |  |

３．渡航者に関する条件

| 番号 | 項目 | 条件 | 回答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 3-1 | 新型コロナワクチン接種 | 原則として、出発前までに3回の接種が完了していること。ワクチン接種証明書を添付すること。 | * 接種回数：３回 |
| 3-2 | 帰国が遅れた場合の対応 | 渡航中に感染するなどして、帰国が遅れた場合、学業への対応について確認しておくこと。 | （具体的な対応を記載） |
| 3-3 | 保険加入 | 本学が推奨する海外旅行保険に加入すること。（出発の2週間前迄） | 保険会社：イーコールズ（株）に加入する。 |
| 3-4 | 危機管理サービスへの加入 | 海外旅行保険と合わせて、本学が指定する危機管理サービスに加入すること。 | 契約業者：日本アイラック（株）  （事務代行：イーコールズ（株）の加入登録フォームにアクセスし、手続きを行う。） |
| 3-5 | 緊急連絡方法 | 渡航先（現地到着後の渡航先への移動中を含む）で国際電話が使用可能なスマートフォンを日本出国時に所持すること。ネット回線接続のみの端末及びSIMは認めない。 |  |
| 3-6 | 本学指定の同意書の提出 | 海外渡航を申請するにあたり、指導教員から説明を受け、渡航先での感染するリスク等を理解したうえで、本人及び保証人が同意し、本学指定の同意書に自署・押印のうえ提出すること。 | 別紙同意書のとおり。 |

４．渡航の可否を判断するために確認が必要な渡航地域・渡航先に関する情報

| 番号 | 項目 | 条件 | 回答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 4-1 | 帰国時の検査証明 | 現地で検査が必要な場合は、検査機関を記載する。 | 検査証明の提出　□必要有　□必要無  必要有の場合（検査機関名） |
| 4-2 | 渡航国の感染状況 | 新たな感染者数、死亡者数、ワクチン接種についての推移 | 別紙のとおり。 |
| 4-3 | 用務先での感染対策 | 用務先でどのような感染対策が取られているか記載する。 |  |
| 4-4 | 現地への渡航手段 | 定期便が運航されているか。 |  |
| 4-5 | 現地サポート | 渡航中に感染するなどした場合、待機場所の提供もしくは紹介などのサポートを受けることができるか。 |  |
| 4-6 | 指導教員からの現地サポート | 学生が渡航中に感染するなどした場合、帯同教員からサポートを受けることができるか。 |  |

５．上記１～４以外に渡航者が確認する情報

| 番号 | 項目 | 条件 | 回答 |
| --- | --- | --- | --- |
| 5-1 | 現地での生活に必要な情報 | 公共交通機関の利用、生活必需品の購入、医療機関への受診、マスク着用義務等の確認などについて記載する。 |  |
| 5-2 | 現地情報の入手手段 | 現地の最新情報を入手する手段（現地在住の知人など）、現地保健省等の公的機関のサイト、本邦外務省及び厚生労働省のサイト（帰国時の検疫）について記載する。 | （現地在住の知人等の連絡先）  （参照サイト） |

＜添付資料＞　以下の資料等を提出すること。

1. 渡航国の感染状況がわかる資料
2. 用務先、国際会議等における感染対策がわかる資料
3. ワクチン接種証明書（３回接種済みであることがわかるもの）
4. 海外渡航に関する同意書（別紙様式）

　※以下、該当する場合

1. 国際会議の概要、発表することがわかる資料